

厚生労働科学研究費補助金（認知症対策総合研究事業）
分担研究報告書

認知症合併患者の周術期管理に関する検討

研究分担者 井上真一郎 岡山大学病院 精神科神経科 助教

研究協力者 川田 清宏 岡山大学病院 精神科神経科 助教

小田 幸治 岡山大学病院 精神科神経科 助教

矢野 智宣 岡山大学医学部 客員研究員

土山 璃沙 岡山大学病院 医療技術部

馬場華奈己 岡山大学病院 看護部

嶋本 恵 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 精神神経病態学

大柳 貴恵 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 精神神経病態学

研究要旨 近年術式の多様化や麻酔法の進歩などにより手術の安全性が大きく改善しているため、高齢者への手術適応が拡大している。高齢者における精神医学的問題として認知症があるが、認知症患者はせん妄の発症リスクが高いことが従来から指摘されており、また治療に関する意思決定への影響が懸念されるなど、周術期において多くの問題が存在している。

当院では、2008年より周術期管理センターを立ち上げ、周術期の患者支援を目的として組織横断的な活動を行っている。そこで、術前患者における認知症の有無について、専門・認定看護師が適切な評価を行っているかについての実態把握を行う。さらに、周術期における認知機能と術後せん妄の関係をより明らかにし、周術期管理体制としてせん妄発症予防対策などが可能かどうかについて検証する。

A. 研究目的

近年術式の多様化や麻酔法の進歩などにより手術の安全性が大きく改善しているため、高齢者への手術適応が拡大している。高齢者における精神医学的問題として認知症があるが、認知症患者はせん妄の発症リスクが高いことが従来から指摘されており、また治療に関する意思決定への影響が懸念されるなど、周術期において多くの問題が存在している。

そこで、平成27年度は、術前患者の認知機能障害の有無やその重症度、ならびに飲酒歴、薬歴、併存疾患を評価し、さらに術後せん妄の発症や重症度との相関について検討することを目的として研究を行った。

B. 研究方法

当院の肝・胆・膵外科において手術を目的として入院した患者を対象として、患者の入

院時に認知機能障害の有無やその重症度、ならびに飲酒歴、薬歴、併存疾患を評価し、さらに術後せん妄の発症や重症度との相関について検討する。

なお、本研究は当院倫理審査委員会の承認を受けており、対象となる患者にはすべて口頭および文書にて同意を得ている。

C. 研究結果、D. 考察、E. 結論

平成27年4月から研究を開始しており、同年12月16日時点で121例に実施した。現在症例集積中であり、まだ結果・考察・結論に至っていない。

F. 健康危険情報

特記すべきことなし。

G. 研究発表

論文発表

1. 井上真一郎：せん妄に対するプロナセリンの有用性に関する検討．精神医学 57(3)：219-224，2015
2. 井上真一郎，他：せん妄の原因，メカニズム．精神科 27(1)：52-57，2015

学会発表

1. 井上真一郎：在宅医療継続の障壁となりうる「せん妄」に関する教育プログラムの有用性について．第 17 回日本在宅医療学会もりおか大会，盛岡 2015.4.25-26
2. 井上真一郎，他：せん妄に対するプロナセリンの有用性について - 好適症例の検討 - ．第 111 回日本精神神経学会学術総会，大阪 2015.6.4-6
3. 井上真一郎，他：終末期がん患者の在宅医療継続の障壁となりうる「せん妄」に関する教育プログラムの有用性について．第 20 回日本緩和医療学会学術大会，横浜 2015.6.18-20
4. 井上真一郎，他：呼吸器外科・消化器外科の手術予定患者を対象とした看護師による認知機能評価に関する後方視的観察研究．第 20 回日本緩和医療学会学術大会，横浜 2015.6.18-20
5. 井上真一郎：地域精神医療：地域における精神科と身体科．第 15 回外来精神医療学会，東京 2015.7.4-5
6. 井上真一郎，他：せん妄患者における紹介病名についての後方視的研究．第 35 回日本精神科診断学会，札幌 2015.8.6-7
7. 井上真一郎：最先端のせん妄治療戦略「せん妄薬物療法の増強療法としての非薬物療法」．第 25 回日本臨床精神神経薬理学会，東京 2015.10.29-30
8. 井上真一郎，他：岡山大学病院において一般病棟や救急病棟から精神科病棟へ転棟となった複数のケースについての検討 - 精神科リエゾンチームの果たす役割 - ．第 56 回中国・四国精神神経学会，倉敷 2015.11.12-13
9. 井上真一郎：サイコオンコロジー領域における介入法開発の最前線「術後せん妄予防のためのチーム医療」．第 28 回日本総合病院精神医学会総会，徳島 2015.11.27-28

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
特記すべきことなし